本報告書は、「やまぐち」からの情報発信、交流・創造へのプロセスと題して、平成29年度の山口情報芸術センターの事業活動を体系別にとりまとめたものです。

そこには、多くのアーティストとの関わり、作品紹介を通した人々の交流・対話、様々な反響と新たな感動など、この山口の地から発信できた、ひとつひとつの成果があります。

今後も、この施設でさまざまな人々が出会い、対話し、新たな情報芸術の創造と発信の拠点となることを目指し、事業展開を図ってまいります。

ご覧いただき、ご感想、ご意見などをお寄せいただければと思います。

また、この場をお借りして、事業に関わってくださったアーティスト、ボランティア、体験・参加者、観劇者等すべての方々に、深く感謝申し上げます。

平成30年9月
山口情報芸術センター
館長　増田　肇

目　　次

平成29年度山口情報芸術センター収支決算 …… 2
平成29年度山口情報芸術センター組織図 …… 2
平成29年度山口情報芸術センター事業概要 …… 3
[1] アート …… 4
[2] 教育普及 …… 10
[3] 地域開発事業 …… 16
[4] ラボ …… 20
[5] シネマ …… 22
[6] 貸館事業 …… 32
[7] 施設利用状況 …… 32
[8] その他特記事項 …… 32
主な関連新聞記事 …… 33
(参考資料)山口情報芸術センターの活動成果 … 39

平成29年度 山口情報芸術センター収支決算

山口情報芸術センターの収支決算は、施設維持管理費と自主事業費に大別されます。
自主事業費は、次頁からの事業実施経費で、当財団会計処理規程によるものを各事業体系に合わせ整理、表現したものです。

1　施設維持管理費

（支出の部）

科　目	決 算 額 (円)
施設費	169,092,857

*主な支出は、
①市立図書館を含めた施設全体に係る電気･ガス･上下水道の光熱水費（50,082千円）
②施設全体に係る清掃･空調設備等保守業務委託料、スタジオに係る舞台機構等の保守業務委託料などの保守管理経費（83,748千円）です。
*この財源は、山口市からの施設管理運営委託料、雑収入です。

2　自主事業費

（収入の部）

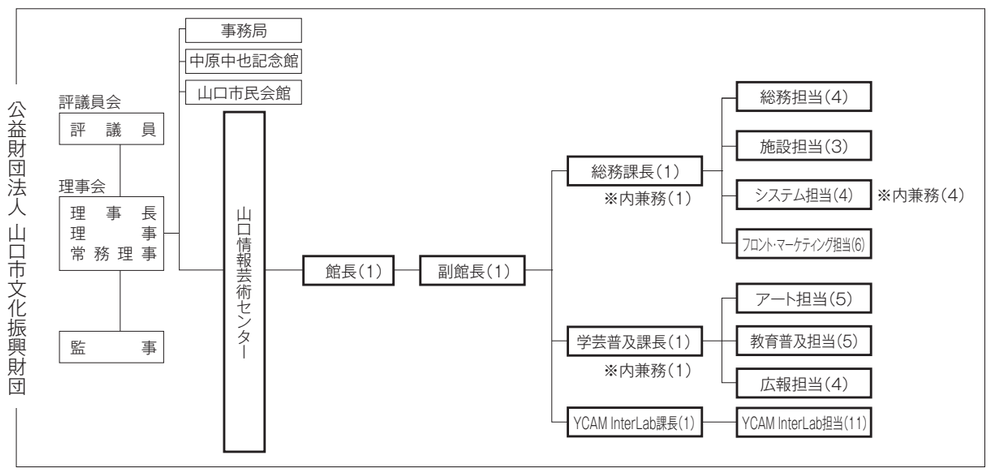
科　目	決 算 額 (円)	備　　考	構成比(%)
チケット収入等	11,010,900	演劇・ダンス等公演・映画に係る入場料収入	4.2
助成金収入	18,892,775	文化庁等による助成金	7.2
雑収入等	3,493,382	ワークショップ参加料、カタログ等販売手数料、業務委託料等	1.3
補助金等収入	230,586,743	山口市からの自主事業実施に係る補助金、委託金	87.3
合　計	263,983,800		100

*チケット収入等は収入全体の4.2%ですが、演劇等公演のチケット料金の安価設定やアート事業展覧会の入場無料など、鑑賞機会の創出に主眼を置いた取り組みをしています。

（支出の部）

科　目	決 算 額 (円)	備　　考	構成比(%)
人件費	128,412,802	市派遣職員・専門員・副専門員・常勤職員等の人件費	48.6
アート	33,635,099	アート企画展、ダンス・パフォーマンス公演等に係る経費	12.7
教育普及	17,672,111	ワークショップ、レクチャー等に係る経費	6.7
地域開発	11,893,800	調査活動、ワークショップ等に係る経費	4.5
ラ　ボ	4,277,727	研究開発等に係る経費	1.7
シネマ	29,825,099	シネマ上映等に係る経費	11.3
共通事業費等	38,267,162	広報費、研修費、アーカイブ費、旅費等その他経費	14.5
合　計	263,983,800		100

平成29年度山口情報芸術センター組織図（平成29年4月1日現在）※職員数41人



平成29年度 山口情報芸術センター概要

1　山口情報芸術センターについて

山口情報芸術センター・通称「YCAM（ワイカム）」は、展示空間のほか、映画館、図書館、ワークショップ・スペースなどを併設したアートセンターです。2003年11月1日の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に活動しており、展覧会や公演、映画上映、ワークショップなど、多彩なイベントを開催しています。

現在、私たちを取りまく社会では、コンピューターや通信技術、映像などによる「メディア・テクノロジー」が目まぐるしいスピードで進化しています。これにより、私たちの生活はあらゆる局面で情報化が進み、コミュニケーションのあり方も大きく変わりつつあります。

こうした変化は、経済活動や社会構造の変化へとつながり、「情報化社会」や「グローバル社会」などと呼ばれる、人類がかつて体験したことのない社会的状況をつくり出しました。またその変化は、個人レベルの身体感覚やリアリティ、想像力にも影響を及ぼし、それらを基盤とした新しい表現が世界中で生み出されています。

YCAMは、このような背景のもとに生まれた新しいスタイルのアートセンターです。

市民やさまざまな分野の専門家とともにつくり、ともに学ぶことを活動理念としながら、メディア・テクノロジーとの適切な向き合い方、文化基盤としての情報の可能性、さらには人間にとっての情報の意味について、幅広いアプローチで探求をおこなっています。

また、近年ではアートの視点から地域の魅力を掘り起し、新たなつながりや価値を創出し、文化振興の枠を超えてまちの賑わいや中山間地域の振興などの地域課題にも取り組んできました。

そして、この過程で生み出される表現や学びを世界に向けて発信し、次世代を担う人材の育成に寄与することを目指しています。

今後も「R&D（研究開発：Research & Development）プロジェクト」と呼ばれる形態を中心に、「YCAMでなければ生み出せないオリジナル作品の制作」「メディア・テクノロジーと市民をつなぐ教育プログラムの提供」「地域の課題や資源とメディア・テクノロジーの融合」の３点を重視しながら様々な事業を実施していきます。

2　事業の概況

平成29年度も、YCAMの豊富な知見を活かしアート事業、教育普及事業、地域開発事業、シネマ事業、それぞれにおいて多様なプログラムを実施しました。

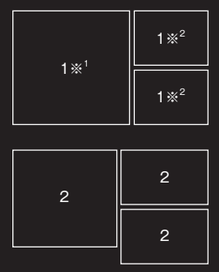
このようにYCAMの活動は開館以来、多岐に渡っています。そこで本年度は、YCAMの活動への理解を深めていただくために、新たな取り組みとして「YCAMオープンラボ2017 HELLO,YCAM！」を開催し、トークセッションや体験プログラム等を通して、YCAMの活動をあらゆる人に向けてご紹介する機会の創出をおこないました。

市民や各分野の専門家とともに調査や実験といった研究開発を進めながら、作品制作をはじめとするアウトプットを積極的に展開した一年となりました。

3　各事業総括表

事 業 区 分	事 業 数	入場者数（名）
［1］アート	6	11,416
［2］教育普及	5	609
［3］地域開発	2	6,722
［4］ラボ	1	932
［5］シネマ	7	13,448
［6］貸館（件数）	32	7,089
合　計	53	40,216

*事業区分･事業数の詳細については、次頁からの個別事業(実施月順)の内容をご覧下さい。



1 ※1 BoomboxTRIP in TRAIN 撮影：田邊アツシ

1 ※2 BoomboxTRIP in YCAM 撮影：田邊アツシ

2 AIDJ vs HumanDj 撮影：谷康弘

1 sound tectonics#19

国内外の最先端のサウンド・アート、音楽表現を紹介するライブコンサートシリーズの第19弾です。
テクノロジーと「場への想像力」を通じて、ある定められた役割をもつ空間を一時的に音楽で満たし、既にある意味付けを巧みに読み替えることで、音楽表現／音楽体験の新たな可能性を提示するライブ・コンサートを2日に渡り開催しました。

●Boombox TRIP in TRAIN

開催日:10月28日（土）
会場:JR西日本山口線鉄道車両内
参加者数:57名（前売一般4,000円、18歳未満2,000円）
出演者:環ROY（ラッパー/音楽家）、U-zhaan（タブラ奏者）、鎮座DOPENESS（ラッパー）

1日目は、山口駅と日原駅を往復するJR山口線の車内を会場に、3名のミュージシャンによる即興セッションをおこないました。走行中の鉄道車内がライブコンサート会場になるというこの場限りの特別な体験となりました。

●Boombox TRIP in YCAM

開催日:10月29日（日）
会場:YCAM館内各所
参加者数:155名（一律1,000円）
出演者:環ROY（ラッパー/音楽家）、U-zhaan（タブラ奏者）、鎮座DOPENESS（ラッパー）

2日目は、5名×5分間×30回限定のフリースタイルライブ+VRライブ映像鑑賞ツアーを実施しました。
参加者は、事前にYCAM館内のさまざまな場所で収録されたアーティストの360度ライブ映像を、館内を巡りながらVRで体験します。ツアー最終地点は通常立入出来ない地下1階。そこでは、今までVRで観ていたアーティストが実際に観客5人の目の前に登場し、即興パフォーマンスをおこなうというプレミアムな体験となりました。

2 sound tectonics#20 AIDJ VS HumanDJ

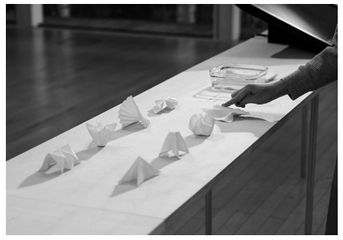
開催日:12月15日（金）
会場:YCAMスタジオA
参加者数:345名（一律1,000円）
出演者:徳井直生（Qosmo/DJ）、tofubeats（音楽プロデューサー/DJ）、Licaxxx（アーティスト/DJ）

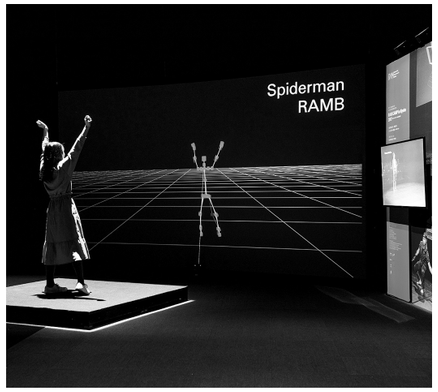
人工知能のDJ（AIDJ）と人間のDJ（HumanDJ）がお互いに曲をかけあう「Back to Back」と呼ばれるスタイルで競演するイベントを開催しました。本イベントでは、Qosmoが開発したAIDJの最新版が登場。AIDJは相手がかけている曲のリズムや曲調、さらにはお客さんのノリもコンピューターで解析し、それに基づいて選曲を行います。
表現におけるテクノロジーと人間の可能性を、臨場感あるステージで実験的に考察し、新しい音楽表現の提示となりました。

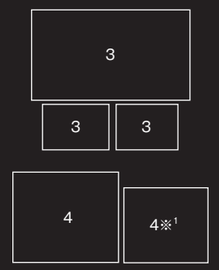
【関連】YCAM presents AIDJ × Nao Tokui（Qosmo）

開催日:8月19日（土）
会場:山口きらら博記念公園
出演者:徳井直生（Qosmo/DJ）

中国地方最大の野外音楽フェス「WILD BUNCH FEST.2017」にて、クロージングアクト「AI×DJ」をプロデュースしました。







3　布のデミウルゴス—人類にとって布とは何か？　撮影：古屋和臣

4　The Other in You—わたしの中の他者　撮影：古屋和臣

4 ※1　RAM CAMP in KYOTO2017 アーカイブ展示　撮影：古屋和臣

3　株式会社細尾+YCAM 共同研究開発成果展示 布のデミウルゴス—人類にとって布とは何か？

開催日:12月9日（土）～平成30年3月11日（日）
会場:YCAMホワイエ、2階ギャラリー
入場者数:7,370名（無料）
出展者、共同研究パートナー:株式会社細尾、慶應義塾大学筧康明研究室／JST ERATO 川原万有情報網プロジェクト、古舘健（アーティスト／プログラマー）、吉田真一郎（美術家）

2015年より、YCAMが京都･西陣織の老舗である細尾らとともに開発を進めてきた新しい布をその成果として展示公開しました。
布は、人が古代から文明を築く中で纏われるようになり、人の内面性･身体性･環境とのかかわりに多大な影響を与えてきました。現代の素材と技術により「糸」と「織」という布の根源的な秩序を解体、再構築することで、人と万物との関りを形づくる創造主（デミウルゴス）としての布に焦点をあて、これからの布とは何か、また布によってもたらされる新たな芸術文化の進展を思考する展示となりました。また、布の歴史を知る手立てとして、吉田真一郎氏が収集し、展示構成した大麻布群作品「白」を参考作品として公開しました。

4　大脇理智+YCAM 新作インスタレーション The Other in You—わたしの中の他者

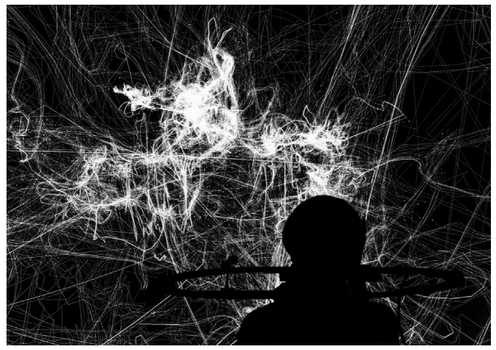
開催日:12月9日（土）～平成30年3月11日（日）
会場:YCAMスタジオB
入場者数:3,428名（無料/関連含む）
アーティスト:大脇理智
コラボレーター:比嘉了（アーティスト／プログラマー）、辻本知彦（ダンサー／振付家）、内橋和久（ギタリスト／ダクソフォン奏者）

バーチャル･リアリティ（VR）や3DCG、立体音響などのテクノロジーを通して、鑑賞者がダンサーと同じステージにいるかのように、間近でダンスを鑑賞できる映像インスタレーション作品を発表しました。
制作には、ダンサーやプログラマー、音楽家など各分野のスペシャリストが集結。ダンスを踊る者と観る者、その意識や身体の境界が揺さぶられる圧倒的なダンス体験は、従来の「ダンス鑑賞」を刷新するものとなりました。
なお、本インスタレーション作品は、世界最大規模のメディアアートコンペティションのひとつ「PRIX ARS ELECTRONICA2018」の「Interactive Art+」部門に入賞しました。

【関連】RAM CAMP in KYOTO2017アーカイブ展示

開催日:12月9日（土）～平成30年3月11日（日）
会場:YCAMスタジオB

10月に京都国際舞台芸術祭KYOTO EXPERIMENT内で開催した「RAM CAMP in KYOTO」の成果を、記録展示の他、本イベント参加者により生み出されたコンピューター･プログラムを実際に体験できる形で展示しました。



5　イスラエル・ガルバン オープンスタジオ　撮影：田邊アツシ

6　山口情報芸術センター [YCAM] 委嘱作品の修復・整理

6※1　三上晴子「Eye-Tracking Informatics」

6※2　中谷芙二子＋高谷史郎「CLOUD FOREST」

5　イスラエル・ガルバン オープンスタジオ

開催日:平成30年1月27日（土）
会場:YCAMスタジオA
入場者数:61名（無料）
ナビゲーター:イスラエル・ガルバン（ダンサー）、竹下暁子（YCAM）、山岡大地（YCAM）

2019年2月にYCAMで開催予定の新作ダンス公演に向けた、天才ダンサー、イスラエル・ガルバンの滞在制作の現場を紹介するイベントを開催しました。
ガルバンの身体に刻まれたフラメンコの規範とメディア・テクノロジーがどのように相互作用を起こすのか、その瞬間を目の当たりにすることができる貴重な機会となりました。

6　山口情報芸術センター[YCAM]委嘱作品の修復・整理
三上晴子「Eye-Tracking Informatics」　中谷芙二子+高谷史郎「CLOUD FOREST」

実施期間:9月～平成30年3月

メディア芸術作品は使用するテクノロジーの陳腐化などにより、初公開から数年のうちに展示がままならなくなることがしばしばあります。本事業では、そのような事態に対するノウハウを蓄積するとともに、作品の再展示可能な状態を維持することを目指し、YCAMが過去にアーティストと共同で制作・発表してきた作品のうち、散逸のリスクが高い2作品の修復を行いました。

山口情報芸術センターを会場とした山口公演開催に際して、YCAM InterLabが技術協力で参加した舞台公演をご紹介します。

●島地保武×環ROY「ありか」

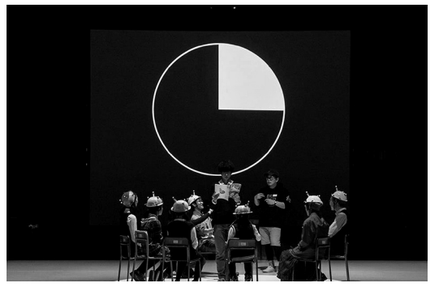
主催:公益財団法人山口市文化振興財団
企画・製作:愛知県芸術劇場
開催日:9月23日（土・祝）、24日（日）計2回公演
会場:YCAMスタジオA
入場者数:196名（前売一般3,000円他）
出演者:島地保武（ダンサー／振付家）、環ROY（ラッパー/音楽家）

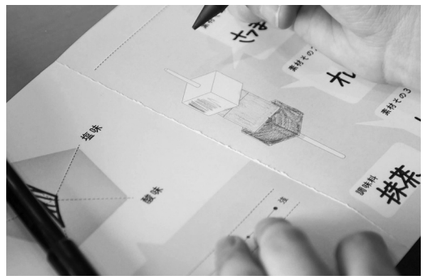
ダンスとラップという異なるシーンの最先端で注目を浴びているダンサー・島地保武とラッパー・環ROYの二人が、即興による動き、音、声、リズムが時空を超えて交差する新しいスタイルのライブパフォーマンスに挑んだ舞台公演です。

●チェルフィッチュ「三月の5日間」リクリエーション

主催:公益財団法人山口市文化振興財団
企画制作:株式会社precog
製作:一般社団法人チェルフィッチュ、KAAT神奈川芸術劇場
国際共同制作:KAAT神奈川芸術劇場、ロームシアター京都、Kunstenfestivaldesarts
開催日:平成30年3月10日（土）
会場:YCAMスタジオA
入場者数:194名（前売一般3,000円他）

岡田利規率いる演劇カンパニー「チェルフィッチュ」の代表作「三月の5日間」。国内外で高い評価を得続ける本作を、チェルフィッチュ活動20周年を節目にメンバーを一新し再創造したリクリエーション版です。





1※1	1※1
1※2	1※2
1※3	1※3
1※4	1※4

1※1 ●森の DNA 図鑑　撮影：田邊アツシ

1※2 ●スポーツハッカソン for Kids　撮影：田邊アツシ

1※3 ●教室メーカー　撮影：田邊アツシ

1※4 ● COOKHACK　撮影：田邊アツシ

1　未来の山口の授業β

会場:YCAMコミュニティ・スペース

「未来の山口の授業」とは、メディア・テクノロジーの応用に関するYCAMの豊富な知見を活かして、地域の連携のもと、小中学校で実施可能な教育プログラムの開発をおこなうとともに、次世代に向けた新たな教育モデルとして全国に発信していくプロジェクトです。
「未来の山口の授業β（ベータ）」では、YCAMの多様化していくプロジェクトの理解を深めるため、新規教育プログラムの開発とそれを試験的に体験できるトライアルワークショップを実施しました。

●森のDNA図鑑

開催日:10月8日（日）、14日（土）※2日間通し
会場:YCAMコミュニティ・スペース
参加者数:12名（無料）

実際に山口近隣の森に行き、採取した植物のDNA分析をおこない、参加者全員でひとつのDNA図鑑をつくることを通じて、自然に対する複眼的な見方を養うワークショップ。平成28年10月に実施したイベント「もしも、森のいきものになったら」の野外ツアー内で開催したワークショップ「森のDNA」をアップデートしたものです。

●スポーツハッカソン for Kids

開催日:10月21日（土）
会場:YCAMスタジオA
参加者数:14名（無料）

最新のテクノロジーが組み込まれた道具を使って、議論と実践を繰り返しながら今までになかった新しいスポーツを開発するワークショップ。平成27年12月に実施した「スポーツハッカソン」を小学生が体験できるようにアレンジしたものです。

●教室メーカー

開催日:11月18日（土）、19日（日）
会場:YCAMスタジオA
参加者数:15名（無料）
共同開発:柴幸男（劇作家/演出家）、岩谷成晃（プログラマー）

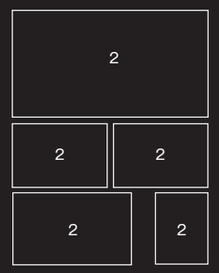
人と人、人とモノの「間隔」をテクノロジーを使って見えるようにしたうえで、黒板や机といったものの配置を変えることでどのような影響がもたらされるか、劇を使って実践しながら教室のコミュニケーションについて考えるワークショップ。平成29年1月に実施した、コミュニケーションの可能性を探るワークショップ「パーソナルスペース再発見」を改良したものです。

●COOKHACK

開催日:12月2日（土）、3日（日）
会場:レストラン・スペース
参加者数:23名（無料）

私たちが料理を食べる時に感じる「おいしい」のしくみを学ぶワークショップ。平成27年に開催された、これからの「食べる」について考えるレクチャーシリーズ「アグリ・バイオ・キッチン—『食べる』のリテラシー」を小学生でも体験できる仕様に改良したものです。

2　●平川小学校（6年生）　撮影：田邊アツシ



2　未来の山口の授業 at School

「未来の山口の授業 at School」では、メディア･テクノロジーの持つ可能性に触れてもらい、発想力や想像力を育むことを目的に、小中学生を対象としたスクールプログラムを実施します。
本年度は、子どもたちが議論やプレゼンテーションを重ね、新しいスポーツを開発（ハッカソン）･実践（運動会）するイベント「スポーツハッカソン for Kids」を山口市内8校の小学校で実施しました。

●柚野木小学校（1～5年生）

開催日:5月11日（木）
参加者数:6名

●さくら小学校（3、4年生）

開催日:6月16日（金）
参加者数:17名

●小郡南小学校（4年生）

開催日:9月22日（金）
参加者数:78名

●平川小学校（6年生）

開催日:11月17日（金）、22日（水）
参加者数:30名

●出雲小学校（2～6年生）

開催日:5月29日（月）
参加者数:17名

●小鯖小学校（3～6年生）

開催日:9月20日（水）、21日（木）／
9月27日（水）、28日（木）
参加者数:65名／65名

●鋳銭司小学校（5年生）

開催日:10月13日（金）
参加者数:19名

●陶小学校（5、6年生）

開催日:11月21日（火）
参加者数:34名

3　未来の山口の授業 at YCAM

会場:YCAMコミュニティ･スペース

「未来の山口の授業 at YCAM」では、今までに開発してきたワークショップをYCAM館内で実施する取り組みです。
本年度は、厳選した4つのプログラムを実施しました。

●walking around surround

開催日:6月17日（土）～7月9日（日）の内、
毎土日計8回
参加者数:55名（無料）

「音」や「空間」について学びながら、新しい作曲のかたちを考えるワークショップ。

●パスタ建築

開催日:10月28日（土）～11月26日（日）の内、
計6回
参加者数:59名（無料）

パスタを使って複数人で行う「ものづくり」のあり方について学ぶワークショップ。

●Eye2Eye

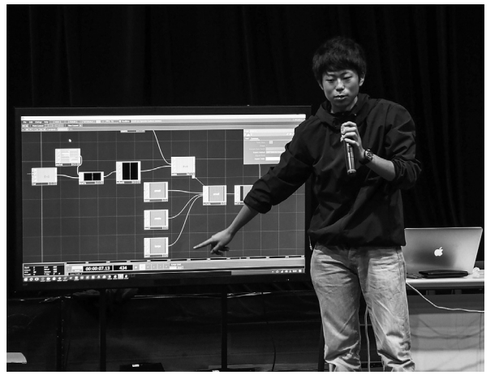
開催日:8月19日（土）～9月10日（日）の内、
毎土日計8回
参加者数:30名（無料）

視線解析技術を用いて、視線を使ったコミュニケーションの存在とその本質を考えるワークショップ。

●TECHTILEワークショップ

開催日:12月23日（土･祝）～平成30年1月21日（日）の内、計6回
参加者数:51名（無料）

「触感」をデジタルデータとして記録/編集/共有できるキットを使い、言語化が難しい感覚を他者と共有するための手法を学ぶワークショップ。



4	4
4	4
5	5

4　スポーツテックワークショップ　撮影：田邊アツシ

5　スポーツテックワークショップ for Kids　撮影：田邊アツシ

4　スポーツテックワークショップ

開催日:8月26日（土）、9月16日（土）、10月7日（土）※3日間通し
会場:YCAM多目的室、スタジオB、コミュニティ・スペース
参加者数:9名（無料）
講師:西翼（一般社団法人運動会協会）、三浦陽平（YCAM）、中上淳二（YCAM）

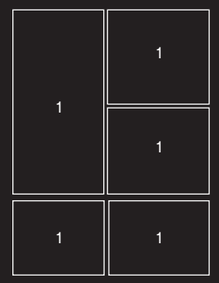
YCAMが蓄積してきた身体活動とプログラミングを橋渡しするノウハウをベースに、デジタルスポーツツールの改変・制作ワークショップ。プログラミングの手法を身に付け、ツールを開発するだけではなく、実際に「未来の山口の運動会」でそれらが使用されるところまでを一貫した人材育成プログラムとして実施しました。

5　スポーツテックワークショップ for Kids

開催日:平成30年2月24日（土）
会場:YCAMスタジオA
参加者数:10名（無料）
講師:西翼（一般社団法人運動会協会）、朴鈴子（YCAM）、田吹東悠（YCAM）、三浦陽平（YCAM）、中上淳二（YCAM）

これまでに「未来の山口の運動会」などで使用されてきた「YCAMボール」というスマートフォンとビニールボールを組み合わせた道具を題材に、その簡易版をプログラミングを通して作成し、それを使って実際に簡単な競技を行いました。プログラミングと運動を行き来することで、道具の振る舞いがスポーツにどのような影響を与えるのか、その関係性を理解・体感することができる内容となりました。

1　●春の YCAM くるくる市　撮影：田邊アツシ



1　YAMA KITCHEN

私たちの生活において身近な行為／概念である「食」を題材に、コミュニケーションを活性化させる場を生み出すプロジェクトです。

●春のYCAMくるくる市

開催日:4月16日(日)、5月21日(日)、6月18日(日)
会場:山口市中央公園
参加者数:2,913名（無料）

●秋のYCAMくるくる市

開催日:10月15日(日)、11月19日(日)
会場:山口市中央公園（10月15日（土））、YCAMホワイエ（11月19日（日））
参加者数:2,100名（無料）

●春のYCAMくるくる市

開催日:平成30年3月18日(日)
会場:山口市中央公園
参加者数:1,400名（無料）

日々の暮らしから生まれる、人々の創意や、新たな工夫を発表する交流の場として、地域における「つくる」「循環する」「つなぐ」をテーマにした、クリエイティブ･リユース･マーケットを開催しました。当日は、地域資源を活かした創造的な活動をおこなうお店や作家が、山口の地元食材や、素材と製法にこだわった食品、生活雑貨などを販売するほか、親子で楽しめるイベントも開催しました。

●1日店長ワークショップ　スパイス香る爆音カレーナイト

開催日:8月24日(木)
会場:YCAMレストラン･スペース
参加者数:21名（2,000円）
講師:樋口泰人（爆音映画祭主宰）、村山由紀子（料理家）、石田徹（ピワン）

「YCAM爆音映画祭2017」内で上映された吉祥寺を舞台にした映画『PARKSパークス』の関連イベントとして実施。吉祥寺のカレー店「ピワン（piwang）」が開発した「爆音カレー」を通して、吉祥寺カルチャーを味覚で体験するワークショップとなりました。

2	2
2※1	
2※1	2※1

2　YCAM スポーツハッカソン 2017　撮影：山中慎太郎（Qsyum!）

2※1【関連】第２回未来の山口の運動会　撮影：山中慎太郎（Qsyum!）

2　YCAMスポーツハッカソン2017

開催日:11月3日（金･祝）～5日(日)※3日間通し
会場:YCAMスタジオA
参加者数:46名（3,000円他）
講師:西翼（一般社団法人運動会協会）、犬飼博士（ゲーム監督／eスポーツプロデューサー）、運動会屋、岩谷成晃（プログラマー）、三浦陽平（YCAM）、中上淳二（YCAM）

新しいスポーツの形や作り方、楽しみ方を実践する合宿形式のワークショップを開催しました。参加者は開発（デベロップ）と実践（プレイ）を繰り返す「デベロップレイ」と呼ばれる制作手法を中心に、さまざまなテクノロジーやアイデアが詰め込まれたスポーツをつくり、最終日の運動会で大人も子どもも一緒に競技しました。
高度情報化社会における新たな身体像やコミュニティーのあり方を「スポーツ」という多くの人にとって身近な活動を通して追及するイベントとなりました。

【関連】第2回未来の山口の運動会

開催日:11月5日（日）
会場:YCAMスタジオA
参加者数:242名（無料）
MC:西垣峻宏

スポーツハッカソンで生み出された新しいスポーツを実際に大人数で競技しました。アイデアを詰め込んだ運動会を、みんなで実践･共有するイベントとなりました。

1　YCAMオープンラボ2017　HELLO,YCAM！

開催日:12月15日(金)～12月17日(日)
参加者数:932名(無料)

多岐にわたるYCAMの活動をあらゆる人々に向けて紹介するイベントを3日間に渡って開催しました。
会期中におこなわれる多彩なプログラムを通じて、幅広いバックグラウンドの人々がYCAMへの理解を深める契機となるよう、YCAMの過去･現在･未来を描き出しました。

●トークセッション

モデレーター:伊藤亜紗(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授)

「R&D(研究開発)」と呼ばれる活動を基盤に、教育、芸術表現、地域の3分野で多彩なプロジェクト、イベントを実施しているYCAMの活動を特徴づける研究開発プロジェクトを8つのカテゴリーから紹介するトークセッションを開催しました。
YCAMのプロジェクト担当者と、関連するアーティストや研究者を招き、事業のプロセスや今後の展望を語り合いました。

12月16日(土)

○イントロ
登壇:菅沼聖(YCAM)
○映画／YCAM Film Factory
登壇:杉原永純(YCAM)×柴田剛(映画監督)、三宅唱(映画監督)
○身体／RAM+Perception Enginerring
登壇:竹下暁子(YCAM)×橋本裕介(KYOTO EXPERIMENTロームシアター京都プログラムディレクター)、大脇理智(YCAM)
○地域／RADLOCAL
登壇:石川琢也(YCAM)×林篤志(一般社団法人Next Commons Lab代表理事)
○バイオ／YCAM Bio Research
登壇:伊藤隆之(YCAM)、津田和俊(YCAM)、高原文江(YCAM)×伊藤亜紗
○Mix-Session1
登壇:杉原永純、竹下暁子、石川琢也、伊藤隆之、伊藤亜紗

12月17日(日)

○学び／未来の山口の授業+コロガル公園シリーズ
登壇:菅沼聖、朴鈴子(YCAM)、山岡大地(YCAM)×エキソニモ(アートユニット)
○布／株式会社細尾+YCAM共同研究開発
登壇:井高久美子(YCAM)×細尾真孝(株式会社細尾常務取締役/MITメディアラボディレクターズフェロー)、筧康明(アーティスト/研究者/慶応義塾大学准教授)、古舘健(アーティスト/プログラマー)
○音楽／sound tectonics
登壇:城一裕(YCAM/九州大学芸術工学研究員准教授)×徳井直生(株式会社Qosmo代表取締役)、環ROY(ラッパー/音楽家)
○インスタレーション作品の修復／三上晴子作品の修復
登壇:渡邉朋也(YCAM)×久保田晃弘(アーティスト/研究者)、馬定延(映像メディア学)
○Mix-Session2
登壇:菅沼聖、城一裕、井高久美子、渡邉朋也、伊藤亜紗
○Closing
登壇:伊藤亜紗、伊藤隆之

[体験プログラム+ショップ]

●プチワークショップ

YCAMのオリジナルワークショップのために開発した道具などに触れられるブースを設置し、ワークショップのアクティビティを手軽に体験いただきました。

●映画上映

YCAM Film factoryプロジェクトで制作した作品を一挙上映したほか、1959年の小津安二郎監督の作品『お早よう』を英語字幕版で上映しました。

●YCAM探検ツアー

「YCAMの工場」とも言えるバックヤードを体験するツアーを開催しました。

●YCAMポップアップショップ

夏に続き2回目の出店となる今回は、「さわれるYCAM、持ち帰るYCAM」がテーマです。「持ち帰るYCAMワークショップの素」第一弾として制作した米麹のキットや、YCAMと山口が楽しめるフードなどを販売しました。

[パネル展示]

●YCAM Q&A

みなさんが日頃抱いている「YCAMってなに?」という疑問とそれに対する答えを一問一答形式で紹介しました。

●R&Dプロジェクト紹介

YCAM内部に設置された研究開発チーム「YCAMインターラボ」が中心になって進めているプロジェクトについて、パネルや映像で紹介しました。

●HELLO,PARTY!

「HELLO,YCAM!」の参加者が一同に会し、来館者とともに対話を交わすパーティー形式のイベントです。

1※1　1※2　1※3

1　YCAM オープンラボ 2017　HELLO,YCAM ！
1 ※1　●トークセッション　撮影：古屋和臣
1 ※2　● YCAM ポップアップショップ　撮影：古屋和臣
1 ※3　● R&D プロジェクト紹介　撮影：古屋和臣

[5] シネマ CINEMA

1	1
2	2
3	3

1　染谷将太＋菊地凛子＋金林剛＋YCAM『ブランク VR』　撮影：古屋和臣

2　中高生向け映画製作ワークショップ　撮影：田邊アツシ

3　真夏の夜の星空上映会　撮影：田邊アツシ

1　YCAM Film Factory vol.3
染谷将太＋菊地凛子＋金林剛＋YCAM『ブランクVR』

開催日:8月12日（土）～9月3日（日）<火曜除く>、9月9日（土）～9月24日（日）の内、毎土日祝
会場:YCAMスタジオB
入場者数:1,919名（無料）
アーティスト:染谷将太（俳優／映画監督）、菊地凛子、金林剛

映画製作プロジェクト、YCAM Film Factoryの第3弾では、熟練した俳優であると同時に監督でもある染谷将太を招聘し、新作映画『ブランク』を制作しました。
本インスタレーション展は、『ブランク』本編とそのメイキング映像を、ヘッドマウントディスプレイを装着しまるで撮影現場にいるような臨場感を持って体験できるVR作品です。俳優＝監督である染谷将太の視点を360°カメラにおさめ、演出風景を映画の制作過程と一体的に体験することで、映画制作の現場でブラックボックス化しがちな演技と演出の関係性を明らかにする試みとなりました。大変好評を博し、会期延長となりました。

2　YCAM Film Factory vol.4
中高生向け映画製作ワークショップ

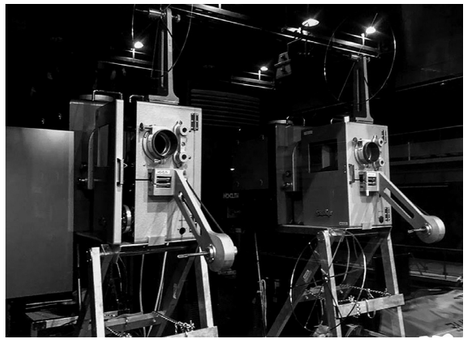
開催日:平成30年1月7日（日）～8日（月･祝）※2日間通し
会場:YCAM館内、山口市中央公園
参加者数:16名（無料）
講師:三宅唱（映画監督）

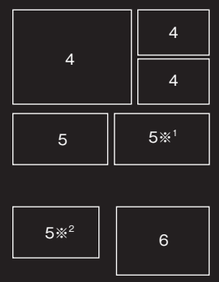
山口県内在住の中高生を対象とした映画製作ワークショップを開催しました。参加者は、三宅監督によるレクチャーの後2チームに分かれ、用意された台本のストーリーを読み解き、浮かんできた疑問一つ一つに丁寧に向き合いながら制作を進めました。自分たちで撮影場所を決め、カメラを回し、登場人物を演じ、一本の映画を完成させることで、新たな映画の面白さに気づけた2日間となりました。

3　真夏の夜の星空上映会

開催日:8月11（金･祝）～8月13日（日）
会場:山口市中央公園
参加者数:1,180名（無料）
上映作品:「シミラー バット ディファレント」「清澄」「ブランク」「茄子 アンダルシアの夏」「茄子 スーツケースの渡り鳥」「（500）日のサマー」

毎年恒例となった屋外での映画上映会を開催しました。
初日には、YCAMの映画製作プロジェクト「YCAM Film Factory」の第3弾として制作された染谷将太監督の最新作「ブランク」を染谷監督の舞台挨拶付きで世界初上映しました。
また、山口県内人気店による飲み物と軽食の販売も行い、星空の下、くつろぎながら映画を鑑賞する特別な機会となりました。





4　カナザワ映画祭 2017 at YCAM　撮影：田邊アツシ

5　YCAM 爆音映画祭 2017　撮影：古屋和臣

5※1　●「PARKS パークス」スペシャルライブ YCAM バージョン　撮影：古屋和臣

5※2　【関連】YCAM ポップアップショップ　撮影：古屋和臣

6　YCAM 爆音映画祭 2018 特別編：35 ミリフィルム特集

4　カナザワ映画祭2017 at YCAM

開催日:8月3日（木）～8月6日（日）
会場:YCAMスタジオA
参加者数:1,094名（前売一般1,300円他）
上映作品:「シン・ゴジラ」「トラ・トラ・トラ」「ハクソーリッジ」「この世界の片隅に」「野火」他

カナザワ映画祭とは、金沢で映画の普及に取り組む一般社団法人映画の会が中心となり、2007年から毎年開催されている、その独自の作品選びがコアな映画ファンの圧倒的な支持を得ている映画祭です。今年度は金沢を飛び出し、国内6箇所で展開され、YCAMでは爆音映画祭の樋口泰人氏を監修に迎え、全作爆音仕様でお届けしました。
「カナザワ映画祭」の珠玉の作品選びに、YCAMが誇る充実の音響機材による「爆音」が融合した、豪華な映画体験をお楽しみいただきました。

5　YCAM爆音映画祭2017

開催日:8月24日（木）～8月27日（日）
会場:YCAMスタジオA
参加者数:1,009名（前売一般1,300円他）
上映作品:「ラ・ラ・ランド」「鉱ARAGANE」「ざ・鬼太鼓座デジタルリマスター」「20センチュリー・ウーマン」他

繊細な大音響によって全身で映画を体感することで、全く新しい映画体験を生む「爆音映画祭」を本年も開催しました。国内初上映となる現代アート界の奇才・マシュー・バーニーの6時間に及ぶ映像オペラ作品『RIVER OF FUNDAMENT』。他にも、爆音で改めて観ていただきたい近年公開の注目作品や、爆音に外せないホラー、アクションなどの往年の名作などを、個々の作品を際立たせる重厚な音の世界でお楽しみいただきました。

●「PARKSパークス」スペシャルライブYCAMバージョン

開催日:8月25日（金）
入場者数:123名（前売一般1,800円他）
出演者:トクマル・シューゴ（音楽家）、井出健介、Alfred Beach Sandal

映画「PARKSパークス」出演ミュージシャンによる特別ライブイベントを開催しました。

【関連】YCAMポップアップショップ

開催日:8月25日（金）～8月27日（日）
会場:YCAMインフォメーション・スペース

YCAM爆音映画祭2017に合わせ、3日間限定のポップアップショップを開催しました。「映画と夏」というテーマのもと全国から集まった8つの個性的な店舗が趣向を凝らしたグッズと飲食物を販売し、爆音映画祭を盛り上げました。

【関連】YAMA KITCHEN1日店長ワークショップ　スパイス香る爆音カレーナイト

※詳細はP17

6　YCAM爆音映画祭2018特別編：35ミリフィルム特集

開催日:平成30年3月2日（金）～3月4日（日）
会場:YCAMスタジオA
参加者数:805名（前売一般1,300円他）
上映作品:「AKIRA」「クレマスター1」「クレマスター2」「クレマスター3」「クレマスター4」「クレマスター5」「HOUSEハウス」「ポーラX」「EUREKAユリイカ」

35ミリフィルムでのみ上映可能な映画を厳選し、爆音上映でお届けしました。今やシネコンでは見ることのできない35ミリフィルム上映の魅力を、爆音で再発見していただく機会となりました。

7　特集上映

会場:YCAMスタジオC
料金:一般1,300円他

山口では上映される機会の少ない映画作品をプログラムの中心とし、作家やテーマ別のYCAMだけのオリジナルの特集企画のほか、文化庁推薦作品などの優れた特集シリーズを巡回上映しています。

●アルモドバル／ヴェンダース／ガレル

開催日:4月8日(土)～4月16日(日)の内5日間
入場者数:143名
上映作品:「ジュリエッタ」「誰のせいでもない(2D上映)」「パリ、恋人たちの影」

●「食べる」ドキュメンタリー vol.4 食の頂点と原点

開催日:4月21日(金)～4月23日(日)の内3日間
入場者数:114名
上映作品:「ノーマ東京 世界一のレストランが日本にやって来た」「カレーライスを一から作る」

●ホンマタカシ ニュードキュメンタリー映画

開催日:4月29日(土･祝)～5月6日(土)の内6日間
入場者数:98名
上映作品:「After 10 years」「最初にカケスがやってくる」「あなたは、あたしといて幸せですか?」「きわめてよいふうけい」

【関連】舞台挨拶+ライブ

開催日:4月30日(日)
登壇:ホンマタカシ(映画監督)
出演:原摩利彦(作曲家)
ホンマタカシ監督の舞台挨拶を「最初にカケスがやってくる」の上映前に開催し、作品上映中は音楽家･原摩利彦によるライブを実施しました。

撮影:田邊アツシ

●ノンシャラン:人生の達人

開催日:5月3日(水･祝)～5月7日(日)の内5日間
入場者数:647名
上映作品:「人生フルーツ」「皆さま、ごきげんよう」「ホームレス ニューヨークと寝た男」

●人が交わる瞬間

開催日:5月20日(土)～5月28日(日)の内5日間
入場者数:203名
上映作品:「人生タクシー」「息の跡」「海は燃えている～イタリア最南端の小さな島～」

●アンコール特集

開催日:6月10日(土)～6月25日(日)の内10日間
入場者数:1,270名
上映作品:「ふたりの桃源郷」「人生フルーツ」

【関連】「ふたりの桃源郷」舞台挨拶

開催日:6月10日(土)
登壇:佐々木聰(監督)

●ミューズとゲリン:ホセ･ルイス･ゲリン監督特集上映

開催日:6月10日(土)～6月18日(日)の内4日間
入場者数:80名
上映作品:「ミューズ･アカデミー」「ベルタのモチーフ」「アナへの2通の手紙」「サン=ルイ大聖堂の奴隷船サフィール号」他

●日本映画を彩る女子

開催日:6月23日(金)～7月28日(金)の内7日間
入場者数:71名
上映作品:「アズミ･ハルコは行方不明」「はらはらなのか。」

●新アジア映画

開催日:7月1日(土)～7月17日(月･祝)の内9日間
入場者数:166名
上映作品:「バンコクナイツ」「タレンタイム優しい歌」

●ロシアン映像革命

開催日:7月15(土)～7月29日(土)の内5日間
入場者数:51名
上映作品:「ハードコア」

●運命と使命

開催日:7月22日(土)～7月30日(日)の内5日間
入場者数:234名
上映作品:「ジャッキー ファーストレディ最後の使命」「午後8時の訪問者」

●若き俳優たちと音楽

開催日:9月1日(金)～9月17日(日)の内9日間
入場者数:103名
上映作品:「PARKSパークス」「ハローグッバイ」

●市川崑監督特集<優秀映画鑑賞推進事業>

開催日:9月28日(木)～10月1日(日)
入場者数:374名
上映作品:「野火」「ぼんち」「東京オリンピック」「おはん」

●アメリカン･ティーンの神話

開催日:10月7日(土)～10月9日(月･祝)
入場者数:104名
上映作品:「キングス･オブ･サマー」「アメリカン･スリープオーバー」

【関連】特集記念トークイベント

開催日:10月7日(土)
登壇:三宅唱(映画監督)、降矢聡(Gucci's Free School/映画配給)

撮影:田邊アツシ

●ダンスと革新

開催日:10月14日(土)～10月21日(土)の内4日間
入場者数:150名
上映作品:「ダンサー、セルゲイ･ポルーニン世界一優雅な野獣」「ミルピエ～パリ･オペラ座に挑んだ男～」

●キン・フー:武侠映画の原点にして頂点

開催日:10月22日(日)～10月29日(日)の内3日間
入場者数:41名
上映作品:「侠女<デジタル修復版>」「残酷ドラゴン血斗竜門の宿」

●スクリーンで知る美の裏側

開催日:11月3日(金・祝)～11月5日(日)
入場者数:251名
上映作品:「エルミタージュ美術館 美を守る宮殿」「メットガラ ドレスをまとった美術館」「レオナルド・ダ・ヴィンチ 美と知の迷宮」

●大人のための小さな映画

開催日:11月11日(土)～11月19日(日)の内5日間
入場者数:273名
上映作品:「パターソン」「甘き人生」「わすれな草」

●空族全作品特集上映

開催日:12月2日(土)～12月16日(土)の内6日間
入場者数:128名
上映作品:「映画 潜行一千里」「バンコクナイツ」「RAP IN TONDO」「かたびら街」他

【関連】トークイベント
開催日:12月9日(土)
登壇:向山正洋(「映画 潜行一千里」監督:スタジオ石)、富田克也(「バンコクナイツ」監督)、相澤虎之助(「バンコクナイツ」共同脚本)、山﨑巌(「映画 潜行一千里」「バンコクナイツ」整音)

撮影:谷康弘

●HELLO,YCAMシネマ!

開催日:12月15日(金)～12月17日(日)
入場者数:111名
上映作品:「ギ・あいうえおス 他山の石を以って己の玉を磨くべし」「ブランク」「無言日記2016」他

●アーティストの肖像

開催日:12月22日(金)～12月24日(日)
入場者数:59名
上映作品:「DARK STAR/H・R・ギーガーの世界」「オラファー・エリアソン 視覚と知覚」

●路上に生きる

開催日:12月23日(土・祝)～平成30年1月27日(土)の内3日間
入場者数:29名
上映作品:「グッド・タイム」

●新春特別プログラム「変態(メタモルフォーゼ)アニメーションナイト2017」

開催日:平成30年1月6日(土)
入場者数:116名
上映作品:「スペース・スタリオンズ」「ピーターと6人のアルファベット神様」他

【関連】トークイベント
開催日:平成30年1月6日(土)
登壇:土居伸彰(アニメーション研究・評論)

撮影:谷康弘

●わたしたちのラブストーリー

開催日:平成30年1月7日(日)～1月14日(日)の内5日間
入場者数:124名
上映作品:「南瓜とマヨネーズ」

●シネマ・イズ・ミラクル

開催日:平成30年1月7日(日)～1月27日(土)の内10日間
入場者数:435名
上映作品:「希望のかなた」「禅と骨」「エンドレス・ポエトリー」「オン・ザ・ミルキー・ロード」

●フィリピン映画第3黄金期

開催日:平成30年2月2日(金)～2月4日(日)
入場者数:76名
上映作品:「立ち去った女」「ローサは密告された」

●35ミリフィルムでみる映画の世界「くらべるシネマ」

開催日:平成30年2月10日(土)
入場者数:69名
上映作品:「Playback」

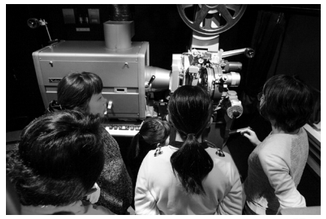
【関連】トークイベント「作り手と見くらべ」
開催日:平成30年2月10日(土)
登壇:三宅唱(映画監督)
三宅唱監督とともに、上映素材の違いによる印象や質感の変化について考えを深めるトークイベントを実施しました。

撮影:谷康弘

●35ミリフィルムでみる映画の世界「フィルムdeホラー」

開催日:平成30年2月11日(日・祝)、12日(月・休)
入場者数:67名
上映作品:「女優霊」「CURE キュア」「東海道四谷怪談」

【関連】映写室見学ツアー 映画の背中を見てみよう
開催日:平成30年2月11日(日・祝)、12日(月・休)計3回
参加者数:15名(無料)
日頃入ることのできない映写室をめぐる体験型ツアーを実施しました。


撮影:谷康弘

●ゲバラとフレディ

開催日:平成30年2月17日(土)～2月25日(日)の内5日間
入場者数:70名
上映作品:「エルネスト」

●糸を知る

開催日:平成30年3月9日(金)～3月11日(日)
入場者数:33名
上映作品:「YARN 人生を彩る糸」

●ダンス、ダンス、ダンス

開催日:平成30年3月9日(金)～3月11日(日)
入場者数:118名
上映作品:「ダンシング・ベートーヴェン」「ミスター・ガガ 心と身体を解き放つダンス」

●坂本龍一の世界

開催日:平成30年3月17日(土)～4月1日(日)の内8日間
入場者数:145名
上映作品:「Ryuichi Sakamoto:CODA」

●映画監督トム・フォード

開催日:平成30年3月17日(土)～3月25日(日)の内5日間
入場者数:71名
上映作品:「ノクターナル・アニマルズ」

●大林宣彦の臨界点

開催日:平成30年3月30日(金)～4月1日(日)
入場者数:103名
上映作品:「花筐／HANAGATAMI」

●YCAM名画座

映画史に残る傑作を上映

vol.7　ルキーノ・ヴィスコンティ初期作品特集

開催日時:5月12日(金)～5月28日(日)の内5日間
入場者数:140名
上映作品:「若者のすべて《デジタル完全修復版》」「郵便配達は二度ベルを鳴らす《デジタル修復版》」「揺れる大地《デジタル修復版》」

vol.8

開催日時:7月14日(金)～7月17日(月・祝)
入場者数:95名
上映作品:「家族の肖像《デジタル完全修復版》」

vol.9　蘇るエドワード・ヤン

開催日時:8月10日(木)～9月10日(日)の内8日間
入場者数:137名
上映作品:「牯嶺街(クーリンチェ)少年殺人事件」「台北ストーリー」

vol.10　イタリア ネオ+クラッシコ映画祭2017

開催日時:9月16日(土)～9月18日(月・祝)
入場者数:81名
上映作品:「ウンベルトD」「三月生れ」「気ままな情事」他

vol.11　モノクロームの誘惑

開催日時:10月15日(日)、10月29日(日)
入場者数:50名
上映作品:「はなればなれに」

vol.12　タルコフスキー監督特集2017

開催日時:11月23日(木・祝)～11月26日(日)の内4日間
入場者数:172名
上映作品:「僕の村は戦場だった」「惑星ソラリス」「ノスタルジア」他

vol.13　ブリジット・バルドー

開催日時:12月24日(日)～平成30年1月21日(日)の内3日間
入場者数:138名
上映作品:「軽蔑《デジタル・リマスター版》」

vol.14　ドゥミとヴァルダ 幸福についての5つの物語

開催日時:平成30年2月17日(土)～平成30年2月25日(日)の内4日間
入場者数:102名
上映作品:「ローラ」「天使の入江」「ジャック・ドゥミの少年期」他

●金曜夜のYCAMシネクラブ

現代日本の映画作家を紹介する金曜夜限定プログラム

vol.15

開催日:4月14日(金)～5月19日(金)の内6日間
入場者数:62名
上映作品:「東京ウィンドオーケストラ」「はるねこ」

vol.16

開催日:10月13日(金)～11月24日(金)の内7日間
入場者数:104名
上映作品:「ブランカとギター弾き」「逆光の頃」「花に嵐」

vol.17

開催日:平成30年2月2日(金)～3月16日(金)の内6日間
入場者数:79名
上映作品:「THE LIMIT OF SLEEPING BEAUTY リミット・オブ・スリーピングビューティー」「恋とボルバキア」

[6] 貸館事業

●山口盆地考

（主催）街なか大学
開催日:11月23日（木･祝）
会場:YCAM多目的室

●自主製作映画上映会

（主催）山口大学映像制作サークルロイヤルミルクティー
開催日:平成30年1月17日（水）
会場:YCAMスタジオC

[7] 施設利用状況

1　入館者数

月別内訳

月	人数	月	人数
4月	51,458	10 月	57,244
5月	53,102	11 月	55,730
6月	53,994	12 月	50,065
7月	57,357	1月	49,646
8月	66,559	2月	49,552
9月	55,674	3月	53,417
合　計　653,798 人			

2　見学･視察件数

月別内訳

月	件数（人数）	月	件数（人数）
4月	15（115）	10 月	12（238）
5月	10（36）	11 月	9（152）
6月	10（66）	12 月	6（29）
7月	8（117）	1月	6（41）
8月	11（37）	2月	9（35）
9月	15（66）	3月	11（21）
合　計　122件（953人）			

3　施設使用状況

施設	開館日数（日）	使用日数（日）	使用率（%）
スタジオ A	308	192	62.3
スタジオ B	308	233	75.6
スタジオ C	308	204	66.2
多目的室	308	188	61.0

※使用率は月ごとの使用率の平均値を記載しています。

[8] その他特記事項

1 アーカイブ事業

例年通り、Webやインフォメーションスペースにおいて、イベントの告知や、過去の作品内容の情報提供に努めました。また、YCAMの活動の具体的な内容や魅力をお伝えするオリジナルコンテンツとして「YCAMイヤーブック」を制作、配布しました。

2 実習生受け入れ状況

●博物館実習
2名（山口県立大学）
期間:8月23日～8月28日
内容:教育普及事業運営補助等

●インターン
1名（香港）
期間:7月14日～8月21日
内容:YCAM InterLab課業務補助等

1名（山口大学）
期間:8月15日～11月5日の内、数日
内容:YCAM InterLab課業務補助等

2名（九州大学／愛知）
期間:8月23日～8月28日
内容:教育普及事業業務補助等

1名（名古屋市立大学）
期間:10月2日～11月10日
内容:YCAM InterLab課業務補助等

主な関連新聞記事

主な関連新聞記事

〈参考資料〉
山口情報芸術センターの活動成果

5月 『ギ・あいうえおス　他山の石を以って己の玉を磨くべし』が映画祭「ニッポン・コネクション」で上映

本作は、新作映画製作プロジェクト「YCAM Film factory」の第一弾として、平成27年に映画監督・柴田剛と共に制作した新作長編映画です。フランクフルトで開催される世界最大の日本映画祭である「ニッポン・コネクション」の、映画の新しい可能性を提示する作品のための部門「ニッポン・ヴィジョンズ」において、ヨーロピアン・プレミア上映されました。

6月 「コロガル公園シリーズ」を題材とした論文を国際学会IDCにて発表

YCAMでは、研究開発プロジェクトの過程で学術論文を執筆し、国内外の学会やジャーナルなどで発表しています。
アメリカのスタンフォード大学で開催された国際学会「Interaction Design and Children 2017」にて、論文「The KOROGARU Park Series:Three Features of the Park of the Future（コロガル公園シリーズ:未来の公園の3つの機能）」を発表しました。

7月 『ギ・あいうえおス　他山の石を以って己の玉を磨くべし』劇場公開スタート

渋谷・ユーロスペースにて、一週間限定公開をおこないました。

8月 『潜行一千里』が「黄金町バザール2017」に出展

YCAM Film factory vol.3として平成28年に発表した、空族+スタジオ石+YCAMによる映像インスタレーション作品『潜行一千里』を、神奈川県のアートフェスティバルにて展示しました。

10月 集中ワークショップ「RAM CAMP in KYOTO2017」を「KYOTO EXPERIMENT2017京都国際舞台芸術祭」にて開催

本ワークショップは、YCAMが平成22年から展開しているダンスとテクノロジーの研究開発プロジェクト「Reactor for Awareness in Motion(RAM)」から生まれたものです。「東アジア文化都市2017京都」の交流プログラムとしての側面もある今回は、日本以外にも中国と韓国から参加者が集まりました。

2月 坂本龍一+高谷史郎『water state1』を複合型イベント「MeCA」にて展示

平成25年に発表した本インスタレーション作品を、インターネット以降の新たな芸術文化の創造・発信を目指して東京で開催された複合型イベントにおいて展示しました。

3月 YCAM委嘱作品が文化庁メディア芸術祭で受賞

平成28年に開催した企画展「バニシング・メッシュ」発表した以下の作品が、第21回文化庁メディア芸術祭アート部門において受賞しました。
・菅野創+やんツー『Avatars』
　アート部門優秀賞
・サイン・ウェーブ・オーケストラ『A Wave』『The SINE WAVE ORCHESTRA stay』『The SINE WAVE ORCHESTRA in the depth』
　アート部門審査委員推薦作品選定

※詳細および過去の成果については、山口情報芸術センターポータルサイト（www.ycam.jp/）をご覧ください。

〈参考資料〉山口情報芸術センターの活動成果

平成29年度
山口情報芸術センター事業報告書

山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL : 083-901-2222 FAX : 083-901-2216
e-mail : information@ycam.jp
http://www.ycam.jp

［発行］平成30年9月

公益財団法人 山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL : 083-901-2222 FAX : 083-901-2216
e-mail : zaidan-info@ycfcp.or.jp
http://www.ycfcp.or.jp/